

月見

河村郁子

名月は暦の上の十五夜の一日遅れ 明日の夜は曇りの予報

杖つきて散歩コースの公園へひとり月見す 園に入らず

中空のまんまるお月様眺めゐて父よ母よと月見をしのぶ

疎開どき祖母さま月見て言ひたりき「月と親とはいつも良いなも」

思ひ出づ秀山荘に山靴を求めて仰ぎし駿河台の月

心なしか月にかすかに橙の色 月も猛暑をしのぎゐるらし

菩提寺の墓所を月光照らすらん 独りで見に行くところにあらず

街路灯にわが影くつきり いつしらに月のひかりを受けてほんのり

新しい『プロジェクトX』は「はやぶさ一号」カプセル遺して火花に散りし

噫、われに遺せるものはなかりけり 悪しき印象は残さずを銘